

道徳通信

愛西市立八開中学校
道徳通信
令和3年12月 1日
2-A
青ブロックの教職員



「目標をもって学び、困難を乗り越えて自分を高めていくことについて考えよう」 ～道徳「私の再出発」を通して考えました～

中学校の「夜間学級」に、78歳で入学した見目律子さん。戦争末期に子供だった見目さんは、複雑な家の事情もあり、中学校には進学できませんでした。その後、地方公務員として63歳まで働き子どもを自立させた後、自分のことが気になります。「街で英語の看板を見ても何が書いてあるのかわかりません。わからないままで終わらせたくない。たった一度の人生、悔いを残したくない。」と、役所に相談に行き、「夜間学級」があると知り、入学することができました。見目さんが書いた作文を通して、目標をもって学び、自分を高めていくことについて考えました。

●● ●●さん

今は普通に勉強ができるけど、戦争などで勉強ができなかった人にとって勉強することは楽しいことだとわかった。

●● ●●さん

そもそも私たちが学校に通えることがいいことなんだと思った。学びたいとは思わないかもしれないけど、出来る事を精一杯やろうと思った。

●● ●●さん

そんなに勉強したいって思えるってすごいなと思った。自分の趣味になら「こうまでしてもやりたい！」と思えるかもしれないけど、勉強には思えない。

●● ●●さん

勉強できていることに感謝して、学ぶことが楽しいと思えるように、分からないままにしないようにしたい。

●● ●●さん

今の時代は進学できることが多いけど、その環境は当たり前ではないから感謝して勉強したいと思う。

●● ●●さん

見目さんは、わからないまま、できないまま終わらせたくないと言っていて、普通の人は思うだけで行動に移せる人は少ないと思う。しかし見目さんは、行動に移せていて、とてもすごいと思った。歳なんて関係なく、学びの場所があるのはとても素敵なことだと思った。

●● ●●さん

学ぶことはいくつになっても大切なことなんだとわかった。でも見目さんみたいに農業系を手伝うのも学ぶことに入ると思った。

●● ●●くん

学ぶというのはただ知識を得るのではなく、その学びを通して、様々なことに取り組もうとするチャレンジ精神、次に生かそうとする向上心を身につけられるんだなと思った。

●● ●●くん

目標をもつことで困難が生まれ、それを乗り越えることで自分を高めることができると自分は思う。だから、物事に挑戦するときには何か一つ目標を持つようにしたい。